

歯科材料8 歯科用石こう及び石こう製品  
一般医療機器 歯科高温鋳造用埋没材 70900020

## モデルキャストS\*\*

### \* [警告]

- 1) 本材はシリカを含有する。遊離シリカは長期にわたって吸入すると肺が損傷される可能性があるため、粉塵による人体への影響を避けるため、局所吸塵装置、公的機関が認可した防塵マスクなどを使用すること。
- 2) 本材を加熱する際は、加熱によるガスを吸入しないよう、局所排気装置、換気扇などを設けた部屋で作業を行うこと。

### 【形状・構造及び原理等】

シリカ、リン酸塩、酸化マグネシウム及びコロイダルシリカを主成分とする歯科鋳造用埋没材である。粉と液を混ぜ合わせて使用する。

#### [成分]

性状	成分
粉 (モデルキャストS)	シリカ、リン酸アンモニウム、酸化マグネシウム、その他
液 (エクスパーズル)	コロイダルシリカ、水

### 【品目仕様等】

鋳造用埋没材。 EN ISO 15912  
JIS T 6608:2001 (タイプ2:クラス1/クラス2相当品)

### 【性能、使用目的、効能又は効果】

コバルトクロム合金などの高融点合金による全部床、部分床、クラスプなどを鋳造するときの鋳型製作に用いる。

### 【使用方法等】

#### [使用方法]

モデルキャストS 作業温度 20℃

複製型の製作	複製型材料	シリコン
	複製型粉液比	粉200g に対し 液40ml
	液濃度	エクスパーズル 精製水
	パーシャルデンチャー	複製型: (75-80%) 外埋没: (50-70%)
	コンビネーションワーク	複製型: (80-85%) 外埋没: (50-70%)
外埋没	粉液比	粉400g に対し 液90ml
練和	15秒間で練りした後	真空攪拌器で60秒練和します。

1) シリコン陰型に流込みして硬化後30~40分で複製型を取り出したら通法に従いワックスアップを完了したら、表面処理剤(ボナアイエスクリーナー)でワックス表面にスプレーします。軽くエアードライした後、外埋没します。

#### 2) リング焼成

- ・急速加熱(ヒートショック加熱)する場合  
粉液練和後 17-20分以内に 900-950℃のファーネスに投入して下さい。係留時間は60分以上して下さい。
- ・粉液練和後 20分以上経過した時は、室温から焼成して下さい。

#### 焼成スケジュール

ノーマル焼成		
温度	昇温スピード	係留時間
室温から270℃	5℃/分	40分
270から580℃	7℃/分	30分
580から950℃	9℃/分	60分

#### A) 外埋没にボナプリサイズを使用する場合

- ・リング焼成はノーマルヒートで室温から焼成します。

#### [使用方法に関連する使用上の注意]

- 1) 必ず複製型用シリコン印象材を使用すること。
- 2) 埋没材、液を入れる前にボールは乾燥させてください。
- 3) 必ず専用液を使用し、正確に計量すること。
- 4) 真空攪拌器のボールはリン酸塩系埋没材のものを使用し、石こう系埋没材との併用は避けること。
- 5) 基底部分は最低1cm以上にしてください。
- 6) パターンの先端とリング上端は8mm以上を確保すること。
- 7) 粉は吸湿性があるため、使用後は速やかに密封すること。

### \*【使用上の注意】

#### 1. 使用上の注意

- ・本品を加熱する際は、加熱によるガスを吸引しないよう、局所排気装置、換気扇などを設けた部屋で作業すること。
- ・本品の硬化物を研削する際は、眼の損傷を防ぐ為に、保護メガネなどの保護具を使用すること。
- ・本材は、歯科医療有資格者以外は使用しないこと。

#### 【重要な基本的注意】

- ・本材が目には入らないように注意すること。万一眼に入った場合は、すぐに大量の水で洗浄し眼科医の診察を受けること。
- ・本材の液及び混合物はアルカリ性であるので、使用の際は、ゴム手袋などを着用し、皮膚に接触しないように十分注意すること。

### 【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

#### 【貯蔵・保管方法】

- ・本材は、4℃以下の低温や高温、多湿の場所を避けて保管すること。
- ・本材は密閉して保管すること。
- ・本材は、歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

#### 【有効期間・使用期限】

本材の使用期限は包装に記載のとおり。  
[当社データによる]

(例 YYY-MM は使用期限 YYY年MM月DD日を示す。)

### 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者 エービーエス株式会社  
製造業者 Interdent d.o.o.  
国名 スロベニア